

# 天の川学園 小中一貫教育だより

令和3年12月1日

交野市立岩船小学校  
交野市立藤が尾小学校  
交野市立私市小学校  
交野市立第四中学校

天の川学園めざす子ども像 「未来を切り拓く子どもの育成」

## 9年間をつなぐ小中一貫教育の取り組み

交野市の小中一貫教育は本格実施2年目となります。天の川学園では、岩小・藤小・私小・四中の4校で一貫教育の取り組みを進めています。9年間を見通した教育課程(カリキュラム)を編成し、4・3・2の区切りごとに指導の重点を設定し、発達段階に応じた学びの充実を目指します。天の川学園における目指す子ども像「未来を切り拓く子どもの育成」を共有し取り組みを進めています。

## 中学校の日～6年生が第四中学校へ～

今年も各小学校6年生は、「中学校の日」として11月に中学校訪問を実施しました。はじめて中学校を訪問する児童も多く、貴重な機会となりました。内容は、午後から訪問し、「中学校生活のガイダンス」と「学校見学」、「中学校体験授業」として中学校の先生から授業(理科)を受けました。また放課後には、「クラブ見学」をし、4月から始まる中学校生活の一部を体験する貴重な機会となりました。



### 児童の感想より

「中学生になるのって、勉強も大変だし不安の方が大きかったです。でも今回のおかげで不安をワクワクに変えられました。」  
「クラブ紹介の動画を見ているときに、私は四中の生徒がクラブをととても楽しんでいる様子がすごく伝わってきました。私は、中学校訪問を通して、中学校とは勉強するだけでなく、友情を深める場所でもあると思いました。」  
「中学校の先生の理科の実験がとても面白かったです。中学校の授業がとても楽しみになりました。」  
「クラブ紹介がとても凝っていて、自分の入りたいクラブのイメージができました。」などとありました。



子どもたちにとって、有意義な中学校の日とすることができました。このような取り組みにより、小学校から中学校へのスムーズな接続につながっています。



## 【外国語活動の充実(教科担任制)】 5年・6年外国語から中1年英語へ



これまでの外国語活動が教科化され、外国語(英語)となり、5・6年生は、教科書を使った授業を行っています。天の川学園では英語専門の教員が校区小学校すべての5・6年生の外国語(英語)の授業を受け持っています。3小学校の5・6年生の子どもたちが、より専門的な内容で、同じ授業を受けることにより、中学校英語にスムーズにつながっています。ALTも配置されており、生きた英語の学びとなっています。



## 【子どもたちをつなぐ小小交流会!】

小小交流として、1年生から5年生までそれぞれの学年が、3小学校で相談・連携し、工夫しながら交流をしています。内容は、各学年様々で、たとえば「文化祭の作品の交流」「運動会の取り組みの紹介」「学校紹介」「図工作品紹介」「音楽発表(歌・リコーダー・和太鼓)」などがあり、交流方法もコロナ禍にあり直接会う方法ではなく、体育館でズームを使った交流や教室でタブレットを活用するなど工夫しながら交流を深めています。交流を積み重ねることにより、学校間の垣根を越えた子どもたち同士の交流が始まり、近い将来の中学校進学時のスムーズな出会いを期待しています。



## 【新たな科「ふるさと科」(地域学習)】

「ふるさと科」の目的は、(1)地域(郷土)から学びその良さを理解し、地域を愛する心を育てる、(2)地域(郷土)のことを大切にすることを育て、地域(郷土)のために考え行動する態度を育てることにあります。取り組み内容は、前期(1～4年)は、「自分たちの町を知ろう」「町と仕事」などについて学び、中期(5年～中1年)は、「地域に学ぶ」をテーマに学習を深め、後期(中2～3年)は、「働くことの意義や素晴らしさを体験する」「自分の未来・人との繋がりを考える」をテーマに自分の未来を考える学習へと発展していきます。新型コロナウイルス感染防止の観点からこれまで出来ていなかった取り組みも少しずつ再開しています。



## 【教職員の取り組みについて】

- ・拡大教科部会では、これまでから9年間(4・3・2制)の各教科カリキュラムづくりに取り組みました。
- ・拡大学年會では、学年別に分かれ、小小交流、情報交換など話し合いました。
- ・学力向上、生徒指導、児童会生徒会、人権、支援、ICT、外国語、保健室など分野ごとにも、情報共有など交流を進めています。